



「メセナアワード 2025」受賞 6 活動決定 メセナ大賞に「MEET YOUR ART」 エイベックス・クリエイター・エージェンシー(株) / エイベックス(株)

本件は 10 月 23 日(木)14:00、文部科学省記者クラブにも資料を配布しています

公益社団法人企業メセナ協議会(東京都港区芝 5-3-2、理事長:夏坂真澄)は、「メセナアワード 2025」の受賞活動 6 件(「メセナ大賞」1 件、「優秀賞」5 件)を決定しました。「メセナアワード」は、企業による芸術文化の振興とこれを通じた心豊かなより良い社会づくりの観点で特に優れた活動を顕彰するものです。

大賞のエイベックス・クリエイター・エージェンシー株式会社/エイベックス株式会社の活動は、事業ノウハウを活用して若手アーティストを支援し、官公庁や企業との協業により現代アートの裾野を広げ、新たな潮流を築いていく将来性が受賞につながりました。そのほか優秀賞についても、半世紀にわたり子どもたちの読書環境の整備に取り組む活動、地域資源の保存再生・拡大を通じた持続可能なまちづくり、写真文化の保存継承と若手写真家の育成支援、社員編成の吹奏楽団による地域の音楽文化振興活動、女性音楽家の継続的なキャリア形成を支援する取り組みが選ばれました。なお、優秀賞にはそれぞれの活動がどのように社会に貢献しているか、特に評価の対象となった点を記載しています。

「メセナアワード 2025」 受賞活動		* 詳細は次頁をご覧ください	() 内は活動実施場所
メセナ大賞		エイベックス・クリエイター・エージェンシー株式会社/ エイベックス株式会社 MEET YOUR ART	(東京都、全国各地)
優秀賞	ー時代に合わせた対応で 読書啓発を 50 年間継続ー	公益財団法人伊藤忠記念財団 すべての子どもたちに読書の喜びを	(全国各地、海外)
	ー地方再生の先導者として 文化芸術支援を継続・拡充ー	中村ブレイス株式会社 石見銀山における古民家再生活動	(島根県)
	ー写真文化の継承と 若手写真家の育成ー	富士フイルム株式会社 写真文化を守り育て、写真の持つ力を発信する 「フジフイルム スクエア」の活動	(東京都)
	ー社員の音楽活動を支援し、 地域の音楽文化を高めるー	株式会社ブリヂストン ブリヂストン吹奏楽団久留米	(全国各地)
	ー女性音楽家のキャリア継続 支援で活躍の場を広げるー	株式会社モデュレックス 東京女子管弦楽団への活動支援	(東京都、全国各地)



MECENAT
AWARDS
2025

「メセナアワード 2025 贈呈式」

日時: 2025 年 11 月 26 日(水) 15:00~17:00

会場: スパイラルホール(東京)

※受賞各社には贈呈式にてトロフィーと表彰状が贈られます
※当日は関係者のみで開催いたしますが、YouTube にてライブ配信を行います(詳細は後日ご案内します)

「メセナアワード 2025」概要

❖ 選考対象活動

日本国内に所在する企業や企業財団、またそれらの連合体が、2024年4月1日から2025年3月31日に実施したメセナ（芸術文化振興による心豊かなより良い社会づくり）活動で、「This is MECENAT 2024」認定活動177件（119社・団体）を対象に選考。

❖ 選考ポイント

1. 芸術文化の向上に貢献している
2. 芸術文化の普及に貢献している
3. 社会や地域に貢献している
4. 企業独自のノウハウや資源を活用している
5. 活動が継続・発展している
6. 活動に独創性がある

❖ 2025年度選考委員

仲 町 啓 子 | 実践女子大学 名誉教授／秋田県立近代美術館 特任館長 ※委員長

佐 倉 統 | 実践女子大学人間社会学部 教授／理化学研究所革新知能統合研究センター チームリーダー

永 山 祐 子 | 建築家

八 反 田 弘 | 東京藝術大学 名誉教授

松 尾 卓 哉 | (株)17 クリエイティブディレクター／CMプランナー／コピーライター

山 口 周 | 独立研究者、著作家、パブリックスピーカー （以上、敬称略・五十音順）

夏 坂 真 澄 | 企業メセナ協議会 理事長



メセナ大賞:エイバックス・クリエイター・エージェンシー(株)／
エイバックス(株)
「MEET YOUR ART」

「メセナアワード」とは

企業によるメセナの充実と社会からの関心を高めることを目的に、1991年「メセナ大賞」（2004年より「メセナアワード」に改称）を創設しました。以来、前年度に実施されたメセナ（芸術文化振興による心豊かなより良い社会づくり）活動を対象に選考を行い、2024年までに、全国各地の優れたメセナ活動253件を表彰しています。

- 「メセナアワード」ウェブサイト: https://www.mecenat.or.jp/ja/mecenat_awards/mecenat_awards
- 「This is MECENAT」ウェブサイト: <https://mecenat-mark.org/>

■公益社団法人企業メセナ協議会

芸術文化の振興とこれを通じた心豊かなより良い社会づくりを目的として、企業をはじめ芸術文化にかかわる団体が参加、協働する民間の公益法人。創造的で活力にあふれた社会、多様性を尊重する豊かな社会の実現に寄与すべく、企業メセナの推進を中心に、芸術文化振興に関する調査研究、認定・顕彰、助成、交流、発信等の事業を行う。

会長:二宮雅也(SOMPOホールディングス[株] 特別顧問)、理事長:夏坂真澄(花王[株] 前顧問)。

会員:126社・団体(2025年10月1日現在)。

【本件に関するお問合せ】公益社団法人企業メセナ協議会 広報:佐藤／認定顕彰:齊藤・藤本
〒108-0014 東京都港区芝 5-3-2 +SHIFT MITA 8階

Tel: 03-5439-4520 | Fax: 03-5439-4521 | E-mail: press@mecenat.or.jp | URL: <https://www.mecenat.or.jp>

■「メセナアワード 2025」受賞活動の紹介

メセナ大賞： エイベックス・クリエイター・エージェンシー株式会社／エイベックス株式会社 MEET YOUR ART

人が持つ無限の創造力を信じ、多様な才能とともに世界に感動を届けることを理念に、エイベックス・グループの中でアート事業を推進するエイベックス・クリエイター・エージェンシーは、2020 年に「MEET YOUR ART」を開始した。国内のアート市場は小規模かつ閉鎖的であり、才能ある若手芸術家が社会とつながる機会が少ないといった課題から、日本のエンタテインメントを牽引し、音楽・マネジメント事業で培ってきた強みを活かしてアーティストの価値の最大化とアート市場の発展を目指している。

主に若手・中堅アーティストを中心にアートの情報を幅広く伝える動画メディアを運営。インタビューや対談を通じて現代アートに関する知識を紹介するほか、著名人による展覧会案内やアトリエ訪問などのコンテンツもある。4 年間で 600 本以上配信し、潜在的にアートに関心ある層にも働きかけ、1 動画あたり平均 1-10 万回再生、チャンネル登録者数は 8 万人を超える。さらに、番組から発展してネットショップなども複合的に展開する。

2022 年からはリアルな交流の場として「MEET YOUR ART FESTIVAL」を開催し、天王洲運河一帯を会場に若手キュレーターによる展覧会やアートフェアをはじめ、音楽・食・ファッションなど領域を横断したイベントを運営している。また、アートを軸にさまざまなカルチャーの発信拠点として西麻布に「WALL_alternative」をオープンし、多様な人が有機的に混ざり合う場となっている。

年々規模を拡大し、東京都、文化庁や経産省、またパートナー企業と官民連携で複合的に事業を推進。芸術文化全体の活性化に向けて、先進的な手法でアートの扉を開き、可能性に挑み続けている。

【受賞理由】

- 事業ノウハウを活かした独創的な手法で若手アーティストを支援し、オンラインとリアルの相乗効果により、現代アートの裾野を広げている。
- 官公庁や企業との協業を広げ、日本のアート業界に新たな仕組みと潮流を築く将来性が期待される。



国内最大級のアート専門 YouTube チャンネル。MC を俳優・ダンサーの森山未来が務め、累計 300 名以上のアーティストを紹介



国内最大級のアートフェスティバル。2024 年は 150 名以上のアーティストが参加し、4 日間で 5 万人を動員

エイベックス・クリエイター・エージェンシー株式会社
【企業プロフィール】(2025 年 10 月時点)

本社所在地	: 東京都港区
設立年	: 2022 年
資本金	: 1 億円
従業員数	: 11 名 (2025 年 3 月 現在)
主な事業	: MEET YOUR ART を中心とする複合的なアート事業
URL	: https://avexcreatoragency.com/

エイベックス株式会社
【企業プロフィール】(2025 年 3 月時点)

本社所在地	: 東京都港区
設立年	: 1988 年
資本金	: 47 億 5,500 万円
従業員数	: 1,487 名
主な事業	: 音楽事業、アニメ・映像事業ほか
URL	: https://avex.com/

■「メセナアワード 2025」受賞活動の紹介

優秀賞： 一時代に合わせた対応で読書啓発を 50 年間継続－ 公益財団法人伊藤忠記念財団 すべての子どもたちに読書の喜びを

伊藤忠商事の戦後再発足 25 周年に設立された伊藤忠記念財団は、青少年の健全育成を目的にさまざまな事業を展開してきた。現在は「すべての子どもたちに読書の喜びを」をテーマに、2 つの事業を軸に青少年の読書環境の整備に取り組む。

一つ目は 1975 年から継続する「子ども文庫助成事業」である。主に地域の子ども文庫や読み聞かせ団体、病院・特別支援学校などで読書啓発活動を行っているボランティアなどを対象に、30 万円の資金助成または財団選書の 100 冊を贈呈する図書助成、そして長年読書啓発に貢献してきた個人への顕彰を行う。特に資金助成については、財団職員が全国各地にある応募者の活動場所を訪問、対面で情報交換することで現場の状況を理解し、事業の改善につなげている。これまで国内外に 2,925 件・約 12 億円を助成し、さらに 2011 年以降は被災地の学校図書館に図書の寄贈も継続している。

2 つ目は 2010 年に始めた「電子図書普及事業」である。紙の書籍では読むことが困難な子どもたちのために、児童書を電子化(マルチメディア DAISY 規格)し、全国の学校、図書館などに寄贈している。2024 年度までに累計 915 作品を製作、延べ 16,665 か所に寄贈するとともに、「国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービス」にも提供。また、全国の図書館などの協力のもと、障害のある子どもたちへの読書支援に必要な知識や方法を学ぶ機会として「読書バリアフリー研究会」を開催している。

同財団は 2024 年度に設立 50 周年を迎えた。今後も社会の変化やニーズに応じながら、子どもたち一人ひとりが本に触れる環境をつくり、本を読む楽しさを伝え続けていく。

【受賞理由】

- 半世紀にわたる読書振興への貢献とともに、多くの子どもたちの豊かな心の醸成に寄与している。
- 現場のニーズを汲み取り、地域の図書館や教育機関との連携により、読書文化の向上につなげている。



【子ども文庫助成事業】「子どもの本 100 冊助成」受領団体の図書お披露目の様子（朝里川あじさい町会 あじさい文庫／北海道）



【電子図書普及事業】マルチメディア DAISY 図書「わいわい文庫」(Ver. BLUE『ももたろう』 文：浜なつ子 絵：よこやまようへい)

【団体プロフィール】(2025 年 9 月時点)

団体所在地	: 東京都港区	正味財産	: 59 億 3,264 万円
設立年	: 1974 年	職員数	: 9 名
主な事業	: 青少年の健全育成事業(子ども文庫助成事業、電子図書普及事業)		
URL	: https://www.itc-zaidan.or.jp/		

■「メセナアワード 2025」受賞活動の紹介

優秀賞： ー地方再生の先導者として文化芸術支援を継続・拡充ー 中村ブレイス株式会社 石見銀山における古民家再生活動

世界遺産石見銀山のお膝元である大田市大森町を拠点に、義肢装具やシリコンゴム製の人工補正具を製作する中村ブレイス。同社では「町に文化力を」との想いから、古民家を買取り、修復・再生事業に取り組む。1988年に創業者・中村俊郎氏が私財を投じて始め、毎年数件のペースでホール、資料館、飲食店や雑貨店、宿泊施設などに生まれ変わらせてきた。これまでに手がけた建物は60軒以上に上る。

2014年には旧大森郵便局庁舎を世界一小さなオペラハウス「大森座」としてオープン。地元出身のアーティストによる凱旋コンサートや地域のピアノ教室の発表会などに利用されており、演奏家と観客との距離が近いアットホームな空間が好評を得ている。2023年には「石見銀山まちを楽しくするライブラリー」を新設。島根県立大学と共同で、ライブラリーやカフェ、コワーキングスペースをつくり、学生・地域住民・観光客の交流拠点として運営する。学生主催のイベントや研究発表会など、地域の一員として活動する機会を創出している。

現在では大森町への移住者が増え、義肢装具士の国家資格を取得した就職希望者が全国から集まり、社員やその家族など約70人が古民家を再生した社宅や社員寮に住んでいる。一時は幼稚園児が一人まで減少したものの20人に増え、運動会や文化祭などを通して以前からの町民とのつながりもできている。

同社の社是は「Think」、そして社名の「ブレイス」は、患者一人ひとりに寄り添い、身体も心も「支える」という誠実さを大切にしている。「再び世界に誇れる町に」と希望をもち、歴史や景観を守り育てる姿勢が、人と自然の共生する持続可能な地域へと広がっている。

【受賞理由】

- 長年にわたる地域資源の保存再生と拡大により、持続的なまちづくりに寄与している。
- 多様な人々が交流できる場や仕組みを創出し、地域ににぎわいと誇りをもたらしている。



オペラハウス「大森座」。最大収容人数70名ほどの小さなホールには、定期的に開かれるコンサートに住民をはじめ多くの来場者がある



「石見銀山まちを楽しくするライブラリー」。島根県立大学のサテライトキャンパス機能も持ち、地元になくはない存在となっている

【企業プロフィール】(2025年9月時点)

本社所在地	: 島根県大田市	資本金	: 2,000万円
創業年	: 1974年	従業員数	: 70名
主な事業	: 義肢装具・医療用具の製造販売	URL	: https://www.nakamura-brace.co.jp/

■「メセナアワード 2025」受賞活動の紹介

優秀賞： ー写真文化の継承と若手写真家の育成ー

富士フイルム株式会社

写真文化を守り育て、写真の持つ力を発信する「フジフイルム スクエア」の活動

写真フイルムで培った技術を活かして幅広い領域で事業を展開し、社会に新たな価値を創出する富士フイルムは、写真文化を守り育て、写真の持つ力を発信する場として「フジフイルム スクエア」を運営している。館内には企画展や公募展、若手写真家の作品発表の場である「富士フイルムフォトサロン」や、写真とカメラの歴史を伝える「写真歴史博物館」などが併設され、2007年の開館以来、延べ1,800回以上の展示を実施、来館者数は850万人を超える。

富士フイルムグループの創立90周年を記念して開催した展示では、「フジフイルム・フォトコレクションⅡ」として収集した20世紀の写真史に名を連ねる著名な海外写真家のオリジナルプリント53点を公開し、好評を博した。「写楽祭！ー日本の写真集 1950～70年代」では、それぞれの時代に注目を集めた写真家の写真集に焦点をあてた展覧会を開催。当時の写真文化の振興において写真集と写真展が果たした役割を再考する機会をつくった。

幅広いジャンルの展示に加え、写真作品に触れる機会が少ない若年層に向けたユニークな企画や同社の元社員がコンシェルジュとして写真の歴史などを解説するツアーは、修学旅行に組み込まれるなど、若い世代の写真文化への興味を喚起している。

さらに、写真家を志す45歳以下の人を対象に個展開催の機会を提供する「写真家たちの新しい物語」や、著名な写真家が応募作品を講評、受賞者を選定し、受賞者とともに個展をつくる「ポートフォリオレビュー/アワード」を開催。新しい感性を持つ写真家の支援に取り組んでいる。

「フジフイルム スクエア」は、写真文化を大切に育みながら、若手写真家の育成も支援し、写真表現の可能性を追求している。

【受賞理由】

- 写真の歴史や文化の継承に取り組むとともに、写真の持つ価値を幅広い層へ発信し続けている。
- 若手写真家の育成支援を通して、写真の新たな可能性を探求し、写真文化の発展につなげている。



「ポートフォリオレビュー/アワード」では、作品選定から展示構成、搬入作業まで、写真展開催に向けて手厚く支援する



「フジフイルム・フォトコレクションⅡ」を東京・大阪で展示し、約3万8,000人が来場した

富士フイルムホールディングス株式会社【企業プロフィール】(2025年3月時点)

本社所在地	: 東京都港区	資本金	: 404 億円
設立年	: 1934 年 (2006 年富士写真フイルム(株)から商号変更)	従業員数	: 7 万 2,593 名 (連結)
主な事業	: ヘルスケア、エレクトロニクス、ビジネスイノベーション、イメージングにかかわる製品・サービスの提供		
URL	: https://www.fujifilmholdings.com/		

■「メセナアワード 2025」受賞活動の紹介

優秀賞： 一社員の音楽活動を支援し、地域の音楽文化を高める－
株式会社ブリヂストン
ブリヂストン吹奏楽団久留米

「ブリヂストン吹奏楽団久留米」は、1955 年、ブリヂストン創業の地・福岡県久留米市で地域の音楽文化向上と社員の文化活動を目的とし、創業者の石橋正二郎氏によって創設された、久留米工場と鳥栖工場の従業員によって構成される社会人吹奏楽団である。『最高の音楽で社会に貢献』を楽団の使命として、会社はシフトや勤務地の調整を行い、現場の同僚従業員からも支えられながら、現在、約 60 名の団員がタイヤ生産と音楽活動の両立に励んでいる。

2024 年度は、久留米市にある石橋文化ホールでの定期演奏会など 13 の演奏会に参加し、久留米地域をはじめとする全国各地の人々へ吹奏楽の豊かな音色を届けた。また、地域貢献の一環として施設や学校を訪問し演奏する活動や、地域の音楽イベントへの参加なども積極的に行っている。

近年は、次世代育成のための活動も活発になっている。久留米市の中学・高校の吹奏楽部を対象とした「楽器指導」、全日本吹奏楽コンクール課題曲の解説とミニコンサートがセットとなった「吹奏楽コンクール課題曲講習会」、さらに 2024 年からは楽器演奏や指揮を体験できる「こどものためのコンサート」を開催しており、子どもや学生などが音楽に親しむきっかけづくりや吹奏楽の普及・向上にも意欲的に取り組んでいる。

また、同楽団は「全日本吹奏楽コンクール」に 1957 年に初めて出場し、1970 年には初の金賞を受賞した。団員は 3 交替制勤務の厳しい状況の中、仕事も音楽も全力で打ち込んでおり、同コンクールで 2024 年までに 50 回以上の出場と 38 回の金賞受賞を重ねている。

「ブリヂストン吹奏楽団久留米」は、常に高みを目指し、最高の音楽を奏でながら、地域の音楽文化の振興・向上に貢献している。

【受賞理由】

- 創設以来、70 年にわたり、従業員の仕事と音楽活動の両立を支援している。
- 卓越した演奏や次世代育成のための活動を通じて、工場所在地を中心に全国で、音楽がもたらす感動と喜びを届けている。



音楽イベントの参加のほか、ブリヂストン工場所在地で定期的に演奏会を開催



「こどものためのコンサート」や学校訪問で楽器・指揮体験を実施

【企業プロフィール】(2024 年 12 月時点)

本社所在地	: 東京都中央区	資本金	: 1,263 億 5,400 万円
設立年	: 1931 年	従業員数	: 1 万 4,207 名
主な事業	: プレミアムタイヤ事業、ソリューション事業等		
URL	: https://www.bridgestone.co.jp/		

■「メセナアワード 2025」受賞活動の紹介

優秀賞： 一女性音楽家のキャリア継続支援で活躍の場を広げる－ 株式会社モデュレックス 東京女子管弦楽団への活動支援

1973 年設立のモデュレックスは、ビルや商業施設の照明デザインを起点に、人々にとって心地よい環境をつくり出すのに必要な各種技術を、独自に統合したソリューション体系として構築し提供する中堅企業である。その範囲は照明、空調、映像、音響、香りの制御といった領域に加え、建物が抱えるエネルギー課題の解決までおよぶ。同社はこうした事業活動に加え、学術活動、芸術活動にも積極的に取り組み、社会課題を解決しながら事業を推進するソーシャルインパクトビジネス化を経営方針として掲げている。

東京女子管弦楽団(TWO)は 2022 年に同社が設立発起した、日本で初めての女性音楽家のみで構成されるクラシック音楽専門のプロフェッショナルオーケストラだ。女性音楽家は出産・育児などライフステージの変化に伴い、家庭と演奏の両立の難しさからキャリアをあきらめることが多い。そうした中で、女性音楽家の社会的地位向上とキャリア問題解決を目指す楽団への資金支援をはじめ、継続的な演奏活動機会を創出している。

社員と取引先に向けた 2 週に1回の社内音楽会では、代表者自ら曲目の作曲背景や楽器の解説を行い、同社デザイン部門が照明・映像・香り・音・風・味覚の五感を融合させた空間演出を施し、企業メセナと社業の相乗効果を生んでいる。全社を挙げて支援することにより、社員と取引先とのコミュニケーションの活性化にもつなげ、クラシックファンの拡大に寄与している。

2025 年は新たに「TWO は、未来を『ひらく』。」というコンセプトを打ち出した。演奏家・管弦楽・聴き手のさらなる可能性を切り拓き、新時代を築いていく挑戦は始まったばかりだ。

【受賞理由】

- 女性音楽家の継続的かつ安定したキャリア形成を支援し、クラシック音楽業界の課題に挑戦している。
- 自社資源を活用した演出の創意工夫により、音楽の新たな可能性とファンの拡大に努めている。



定期公演では、楽団員の手ほどきで子どもたちの初楽器体験の場になることも。また、母親の演奏を最後まで聴き入る子どもたちの姿も見受けられる



同社の空間演出による社内音楽会の演奏風景。音楽を通じて、ビジネスの枠を超えた交流機会をつくっている

【企業プロフィール】(2025 年 9 月時点)

本社所在地	: 東京都渋谷区	資本金	: 1 億 5,700 万円
設立年	: 1973 年	従業員数	: 234 名
主な事業	: 統合環境ソリューション事業	URL	: https://www.modulex.jp/

■「メセナ大賞・優秀賞」トロフィー

メセナアワードでは、若手作家に新作トロフィーを依頼・制作しています。

2025 年は作家の藤沢恵氏が制作を行っています。

トロフィーは「メセナアワード 2025」贈呈式(2025 年 11 月 26 日[水] スパイラルホール)にて、表彰状とともに受賞各社・団体に贈られます。



Cycling Moon

2025 年

H240×W270×D80mm

大理石、真鍮、アクリル板

撮影:佐藤 茂

【作家プロフィール】

藤沢 恵(ふじさわ めぐみ)

1985年岩手県生まれ。2010年東北芸術工科大学芸術文化専攻彫刻領域修了。真逆の性質を持つ石と金属を用いて、「事象の汀渚」をテーマに作品を発表している。近年は透明アクリル板を素材に加え、モニュメント制作を手掛ける。2022年 UBE ビエンナーレにて柳原義達賞受賞。その他受賞、入選多数。

